

普段見ることのない海底に感動 大沢小児童が観測船に乗船

7月21日、大沢小学校（及川輝美校長）の1～4年生43人が、水中観測船「ハーモニー」に体験乗船しました。児童たちは、船内のアナウンスを聞きながら湾内を周遊。船の目玉である水中観測室では、普段は見ることのできない水面から下を観察。養殖棚から吊るされたたくさんのカキや、オランダ島周辺の海底を目にすると児童からは歓声が上がりました。佐々木悠人君（2年）は「海の下の地面を見ることができて楽しかった」と、笑顔で感想を話してくれました。



手作りの野外音楽フェス ウミネコJAM開催される

7月23日、鯨と海の科学館前の船越公園でウミネコJAMが開催されました。「町に楽しいことを作ろう」と町内外の有志が実行委員となり企画したこの音楽イベント。こととして2回目の開催となりました。当日は、あいにくの天気となりましたが、音楽が会場に響きわたると自然と来場者の体も揺れ、会場には熱気が。この日出演したのは、本町出身のシンガーソングライター・佐々木龍さんや町のキッズダンスグループなど13組。それぞれが熱いパフォーマンスを繰り広げ会場を沸かせていました。

広島風お好み焼きのお振る舞い 子どもたち本場の味に舌鼓

8月2日に豊間根地区放課後児童クラブ、4日に織笠保育園（湊希園長）で、子どもたちにお好み焼きが振る舞われました。これは、広島県でお好み焼き屋を営んでいる佐渡忠和さん（65）が、震災復興子ども支援として行っているものです。2日の豊間根地区放課後児童クラブでは、広がる香ばしいソースの香りに、子どもたちはわくわく。焼きたての本場の味を楽しみました。森心音さん（豊間根小2年）は「お好み焼きの中に焼きそばが入っていておいしかったです」と目を輝かせました。



災害に協力して対応するため 町と富士宮市が協定を締結

8月8日、町と静岡県富士宮市は、災害時における相互応援に関する協定を締結しました。調印式は同日、役場4階特別応接室で行われ、佐藤信逸町長と須藤秀忠市長が協定書に調印。佐藤町長は「平成23年から現在まで、12名の職員を富士宮市から派遣していただきました。微力ながら、災害が起きた際には協力します」とあいさつし、須藤市長は「当市は、南海トラフ地震や富士山の噴火などがいつ発生するか分かりません。そのような中での協定締結をありがとうございます」と、応じました。



町のわたい

今月の題字 岡田 ^{たいが}大雅君（織笠小2年）



第11回やまだの花火大会が開催 夏の夜空に5千の華が咲く

8月14日、山田の夏の恒例行事となった商工会青年部（中村尚司^{たかし}部長）主催の「第11回やまだの花火大会」が、ことしも盛大に開催されました。山田魚市場隣接の特設会場では、午前10時半からカラオケ大会や山田吹奏楽団による演奏、鉄神ガンライザーヒーローショーにえびすまきなど、多くのイベントが行われ、花火大会を盛り上げます。午後7時からは、待ちに待った花火の打ち上げ。会場に集まった人たちは、まるで空から降ってくるかのような迫力と、体の芯まで痺れるほど響く音の臨場感を味わい、花火が上がるたびに歓声を上げていました。

マリンスポーツで山田湾を満喫 山田パドルフェス2017開催

7月29日、浦の浜海水浴場で山田パドルフェス2017が開催されました。これは、町がシーカヤックなどのマリンスポーツを通して山田湾を満喫してもらおうと開催したもので、今回で2回目。今回は、オランダ島への上陸体験も行われました。当日は、あいにくの天気となりましたが、多くの人々が訪れシーカヤックやSUP（スタンドアップパドルボード）を体験。インストラクターの手ほどきを受けながら、湾内を悠々と周遊しました。親子で訪れていた三上乃愛^{のあ}さん（大沢小4年）は「パドルを持つ手は痛かったけど、楽しかったです」と笑顔を見せました。

